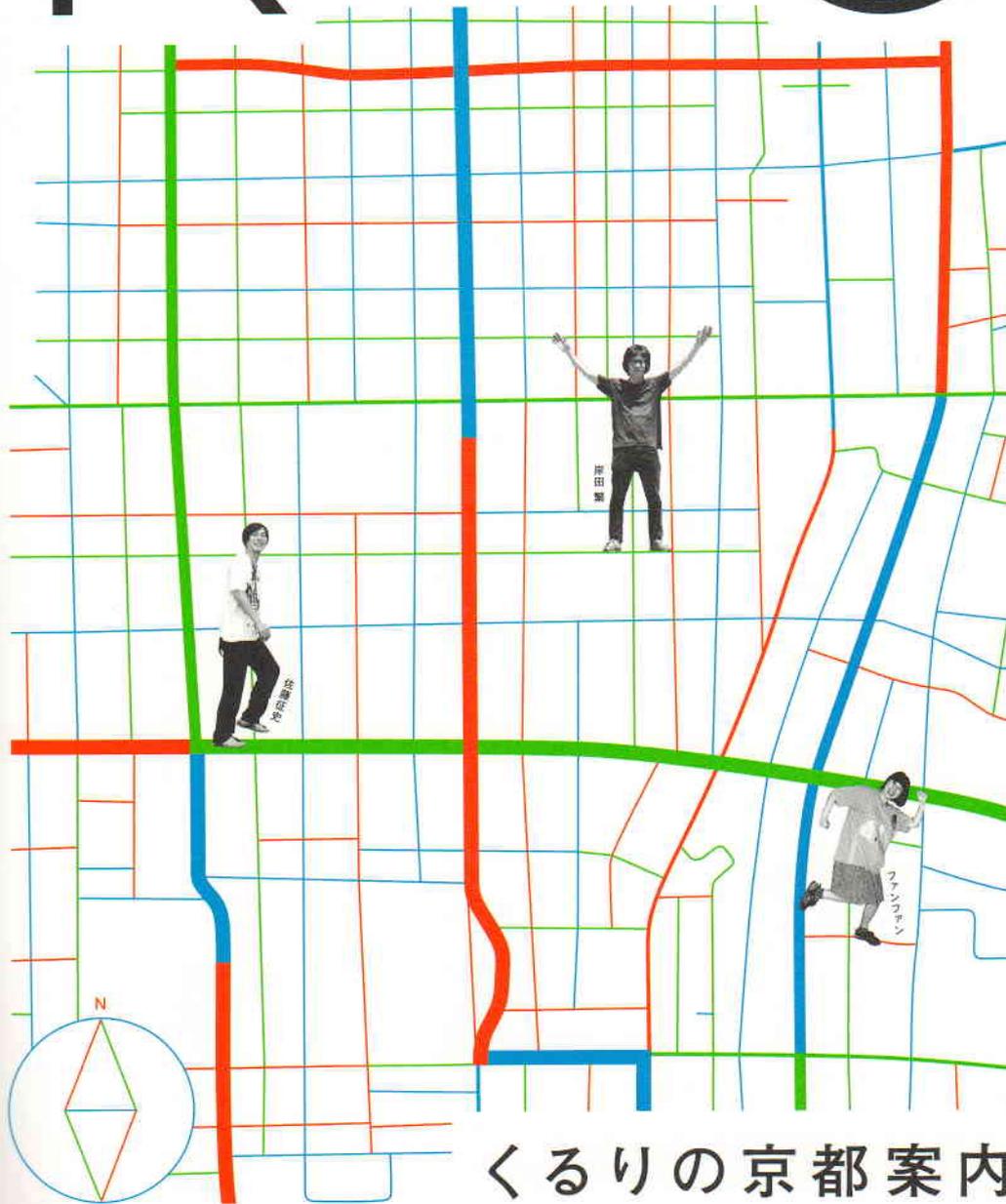


TRANSIT 29号 別冊付録 京都音楽博覧会2015 in 梅小路公園

KYOTO



ぐるりの京都案内

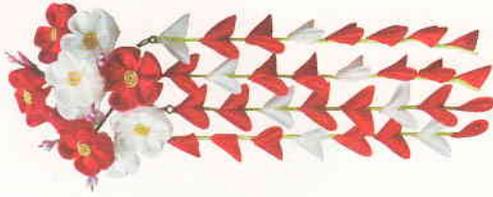
友禪染



扇絵から生まれた
華やかな模様

江戸時代の元禄期に活躍した扇絵師・宮崎友禪が考案したとされる模様が染められた。絵画を描くように着物を繊細な柄を染め出す。京友禪の老舗・千鶴は、伝統の技術を受け継ぎ着物を製作。引き振袖「流水百花文様」

千鶴
MAP E
住 | 京都市中京区三条通
烏丸西入ル御書町80
電 | 075-211-2531



祇園を彩るはんなり髪

かんざしの起源は縄文時代に遡るが、技巧を凝らした結髪はの登場とともに発展・流行した。これは江戸時代後半、花びらをモチーフにした花かんざしの発祥の地は京都。金竹堂は江戸時代の創業以来、祇園の舞妓さんや芸妓さんなどの花かんざしや髪飾りを製造してきた。

金竹堂
MAP E
住 | 京都市東山区祇園町北側263
電 | 075-561-7868

花かんざし

工芸の世界にも訪れた文明開化

明治時代、英国から輸入された保存性と殺菌効果の高いフリキに注目し、それまでない丸蒸作りを始めたのが1875年創業の開化堂。以来、初代からの手法を守り、手づくりの茶筒を制作。使うほどに味わいを増すプリキ製茶筒(取込盆用120g) 11,880円

開化堂

MAP E
茶筒
住 | 京都市下京区河原町六条東入ル
電 | 075-351-5788

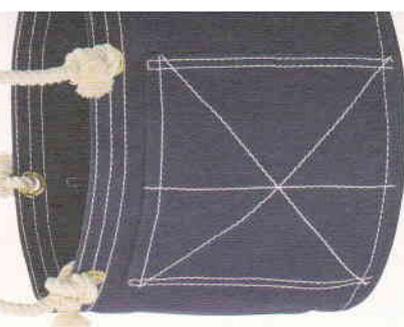


職人から一般の人の
手に渡ったかばん

江戸時代末期より各地で織られていた帆布。1905年創業の一澤帆布が、酒屋や氷屋といった職人用のかばん製造を行うようになったのは大正時代。以降、職人の手により様々なかばんが製作される。「一澤帆布製」の牛乳配達かばん8,100円

一澤信三郎帆布
住 | 京都市東山区
東大路通
古門前北
電 | 075-541-0436
MAP E

帆布



煙管



町人文化とともに花開いた
フアッションナブルな喫煙具

日本で独自の発展を遂げた、刻み煙草を吸うための喫煙具。煙管の製造が盛んになったのは、喫煙の習慣が根づいた江戸時代の元禄期。煙管をもつことは一種のステータスであり、職業別に形が決まっていたという。谷川清次郎商店の創業も元禄期に遡る。

谷川清次郎商店
MAP B
電 | 075-351-5762
URL | www.kiscusermoniten.com

和傘

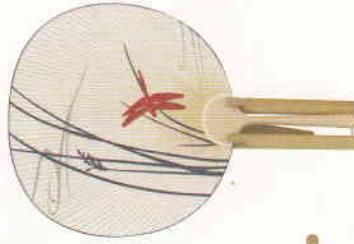


権威の象徴から装いの道具へ

平安時代頃に中国より伝来した傘。当初は日除けや雨除け、貴族の権威の象徴として用いられた。一般に使われ始めたのは江戸時代中期以降。日吉屋は江戸時代後期から続く京傘の老舗。本式野点傘(3.5尺) 232,200円

日吉屋
MAP C
住 | 京都市上京区寺之内通堀川東入ル百々町546
電 | 075-441-8644

京うちわ



御所の涼を優美に演出

朝鮮団扇の流れをくむ京うちわが、団扇面と把手が別々に作られる独自の差し柄構造となったのは江戸時代以降。絵画により優美な絵が描かれ、宮廷でも用いられた。伝統製法を受け継ぐ阿以波では、国産の材料にこだわり、多様な京うちわを制作。

阿以波
MAP E
住 | 京都市中京区
柳馬場通六角下ル
電 | 075-221-1460

